

平成27年度 環境報告書



川上塗装工業株式会社



目次

1. 企業概要 p.1
2. 代表取締役から p.3
3. 事業内容 p.6
4. 5つの柱 p.8
5. 環境への負荷の確認、使用状況
 これからに向けて p.11
6. 水性塗料と油性塗料の比較検討 p.14
7. 環境への取り組み提案 p.16
8. 編集後記 p.18

1. 企業概要

会 社 名 川上塗装工業株式会社

所 在 地 〒020-0011 岩手県盛岡市三ツ割三丁目 2-11

創 業 平成 17 年 2 月 2 日

資 本 金 300 万円

代 表 者 かわかみひでお
川上秀郎

社 員 9 名

営 業 時 間 9:00～17:00

業 種 一般建築塗装工事

装飾塗装

屋根板金工事

大工工事

リフォーム工事 他

沿 革 平成 17 年 2 月 岩手県盛岡市仙北にて創業

平成 18 年 8 月 盛岡市上田堤に移転

平成 24 年 2 月 (資)小原商店と合同で塗装+左官のシ

ョールーム&カフェ「おうちカフェ*ヂルチクリエイ

ト」出店 (平成 25 年 3 月一時閉店)

平成 25 年 6 月 川上塗装株式会社に組織変更

平成 26 年 4 月 本社を三ツ割に移転

所 属 一般社団法人日本塗装工業会

岩手県塗装工業組合

岩手県中小企業家同友会

盛岡商工会議所

リノベーション住宅推進協議会

許可番号 岩手県知事許可(般-26)第 20801 号

資格 建築施工管理技士（躯体）二級1 名

岩手県建築塗装技能士二級3 名

日本ペイント(株)ハナコレマイスター1 名

(株)A&M ペイントマジシャンマイスター 1 名

取扱塗料

日本ペイント(株)

日本オスモ(株)

関西ペイント(株)

ベンジャミンムーア

菊水化学工業(株)

ファローアンドボール

エスケー化研(株)

日本エンバイオケミカルズ(株)

2. 代表取締役から

(経営方針・理念、環境への取り組み、仕事に対する思い、会社の特徴)

実施日：平成 27 年 12 月 18 日



川上秀郎代表取締役

インタビュー

環境についてどのように考えていますか？
まず、地球環境についてお願いします。

地球環境については、ものを古くなる前に保護して、出来るだけ捨てずに大事に使うことを意識しています。また、塗装自体古いものを壊さずに新しい価値をつけることでもあるので、環境配慮につながっていると思います。

社内環境などについても、何か心がけていることはありますか？

社内環境については、家族を一番に考え時間・休み・給料に配慮し、子育てしやすい会社づくりを目指しています。例えば、仕事があるからといって子供の発表会に行くことが出来なかったら、仕事を子供にも誇れないと思います。これは経営理念の人間性にもつながっていることです。

会社や仕事のことで誇りに思っていることは何ですか？

「人！」
まだ経営について勉強していなかったとき、利益のない仕事をしていて会社の経営状況が厳しく、社員の給料を下げなければならなくて、辞めてしまった社員がいました。会社で起こることは全て経営者の責任であるから、会社の中で、一番社員を幸せにすることが出来るのは自分で、誰よりも社員を守りたいと考えています。社員を大事にすれば、お客さんを大事にするようになるし、仲間が好きでやっているから、アニメ「ワンピース」のように人を大事にする会社にしていきたいです。

仕事に対する想いを聞かせてください

想いからしか物事は始まらないし、想いがあればつらくても乗り越えられると思います。儲けのためだけだとつらい時にやめてしまいが、数字を上がるとモチベーションも上がるから、人を残して次につなげたいです。

「日本一！」に気づいたらなっていればいいな。そのために先のことを何も考えないで働くのではダメで、会社としてのビジョンを持っていかなければならないと考えています。

経営方針・理念

科学性

- 仕事に真剣に向き合い、0→1のワクワクドキドキをクリエイトする。
- お客様の心理を読み「アイディア」「デザイン」「技術」「感性」を使い、無理を可能にし、自分たちもお客さまも「楽しくなっちゃう」商品や製品を作り出す。
- 強いデザイン性を持った、昨日までなかった空間を創造する（塗創）。

社会性

- 地域に人が集まるしくみを作り地域課題改善する。
 - 課題を解決するコミュニティーづくり
 - 子供と女性が住みやすい環境づくり
 - 新しい仕事づくり（若者が働く場）
 - 遊休不動産問題の改善
 - 自分たちの地域とを感じる仕組みづくり
 - 商品を使って綺麗な街並みを創造
- 最終的には地域が元気だなと感じられる街並みを創造

人間性

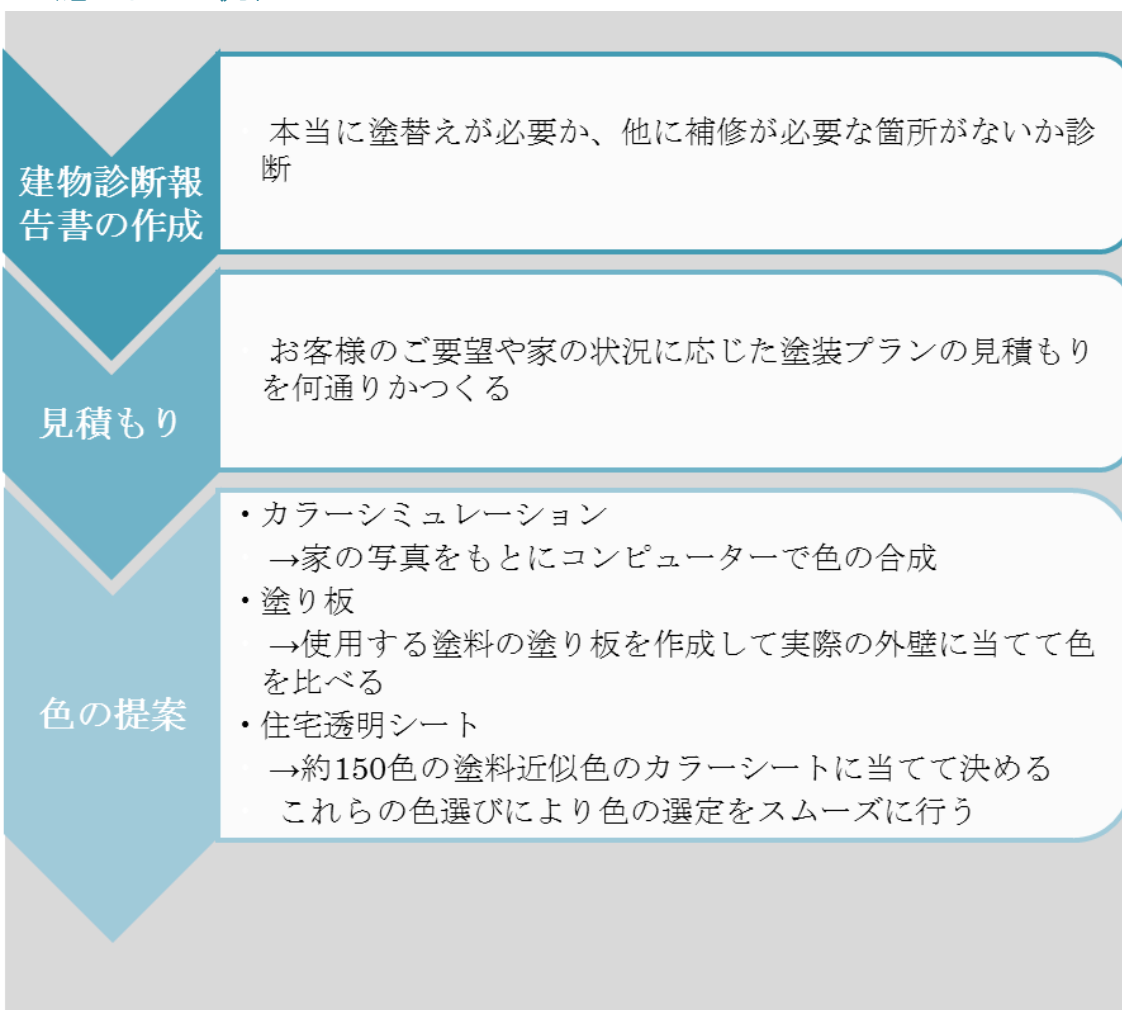
- 運命共同体の仲間に愛を持って自主的な努力をし、互いの資質を高め合い、知識を吸収しこれからの自分たちに必要な総合的な能力を高め「ドン！と胸を張って、自分たちの子供に誇れる人」になろう！
- 会社は一つの船に乗っているようなもの。アニメ「ワンピース」のような会社が理想

3. 事業内容

□ 塗装工事

工事例) 屋根塗装、外壁塗装など

□ 施工までの流れ



□ 施工内容

- ① 高圧洗浄・下地処理
- ② 下塗り（錆止め）
- ③ 中塗り
- ④ 上塗り

屋根塗装も外壁塗装も3回の手塗りで作業

□ 屋根板金工事

工事例) 屋根の葺き替え、雨樋調整・交換、雪止め設置

□ 大工・外構工事

工事例) 外壁交換、フローリングの貼り替え、間仕切り変更

5つの柱（実践プロジェクト）

① ジルチクリエイト



雑貨・家具製作、装飾塗装、空間デザインを主とした部門。

建築塗装とは異なるデザイン性の高い塗装を主とし、商業施設などの空間演出も総合的に行う。岩手県で装飾塗装の技術を持った会社は川上塗装だけ！

自社独自の技術で他社との差別化&付加価値と利益率UP↑↑

施工例



（施工前）



（施工後）

② リノベーション JOIN



川上塗装工業株式会社の工事部門の最大の強みである、塗装×屋根板金×大工のパッケージ化を行っている。

他の塗装屋よりも幅広い工事ができ、他のリフォーム屋よりも高品質の施工ができる。

地域で唯一の存在となるような会社を目指す。

③ 2 coda



IT×小規模事業者のコラボレーション

自社内にITによる営業管理を導入することにより、自社内を徹底的に改革する。その実例をもとに小規模事業者をメインに活用してもらい、ITによる企業情報管理の底上げを狙う。

ITで企業が幸せになる仕組みづくりを目指す

④株式会社もりおか家守舎



地域課題を解決するためにリノベーションによる街づくりを行うことが大事となる。その中で、民間主導のまちづくりがポイントとなる。不動産オーナー、事業オーナー、役所をつなぐ役割を果たす。自社への冬場の仕事の創出、異業種との連携を強化し“もりおか”という本質的な価値を高め、住みたい街にすることを目標とする。

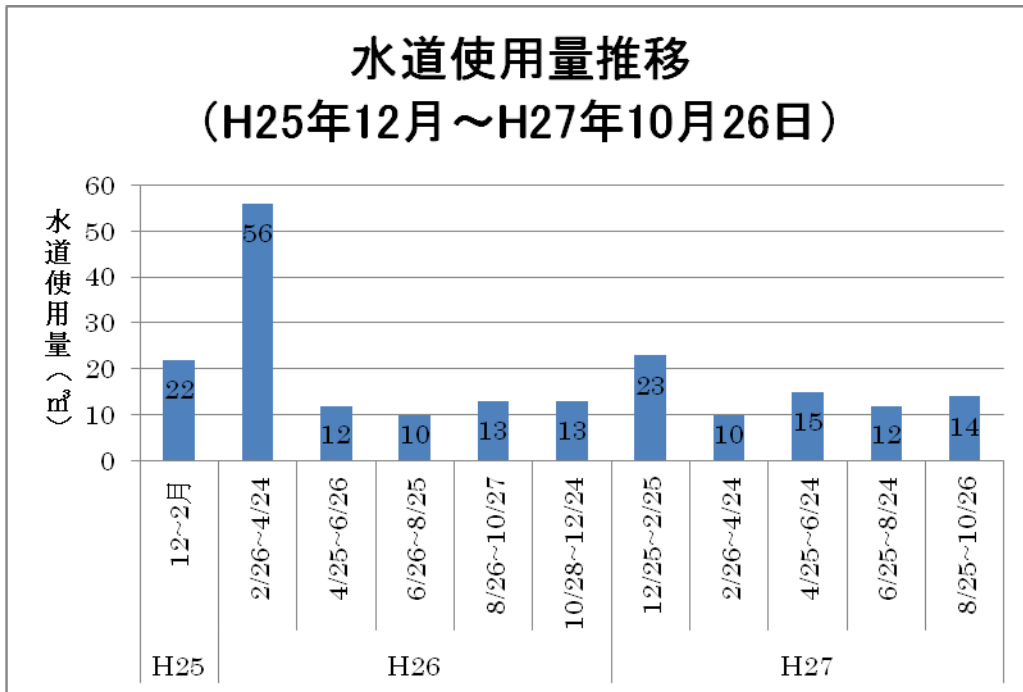
⑤First Step～夢を叶える場所～



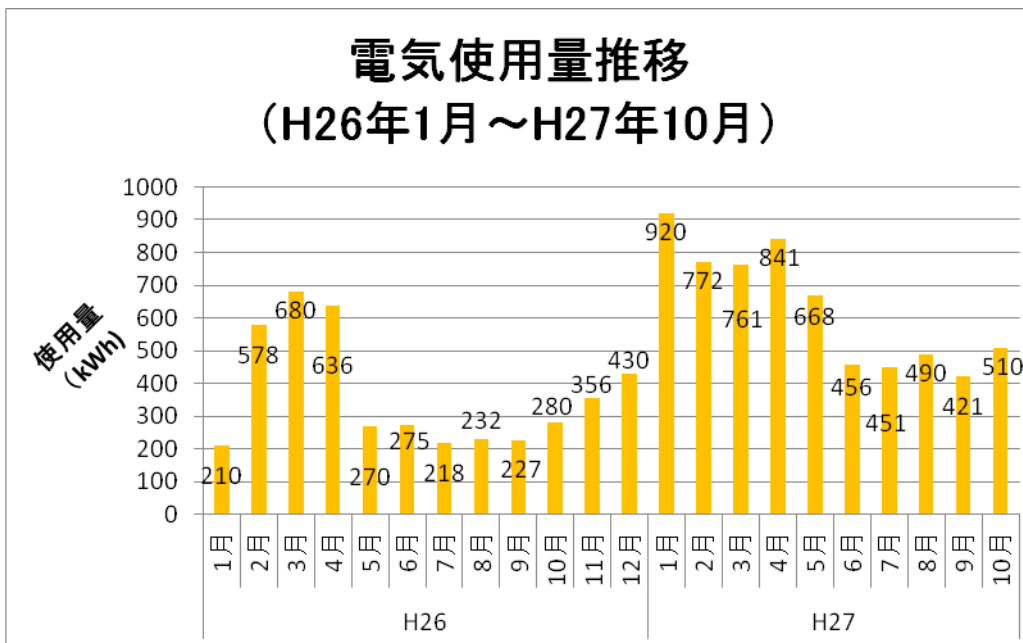
主に女性の自己実現のサポートをする場として、会社の3階にオープン予定。塗装と左官のショールームとして、青山で行ったような場所を目指す。“夢を叶える場所”をテーマに、チャレンジショップ、ハンドメイド販売、セミナーや講座のためのレンタルスペース、テナント賃貸など女性の起業を応援する部門となる。

5. 環境への負荷の確認、評価、これからに向けて

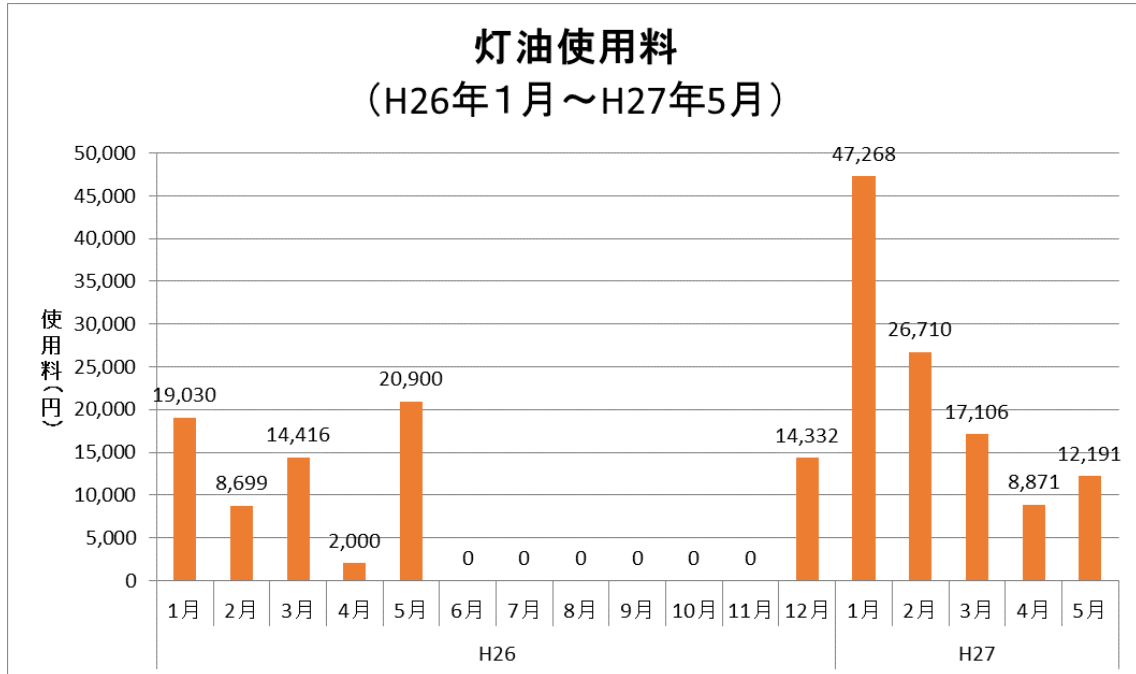
■ 水道使用量推移 (H25年12月～H27年10月26日)



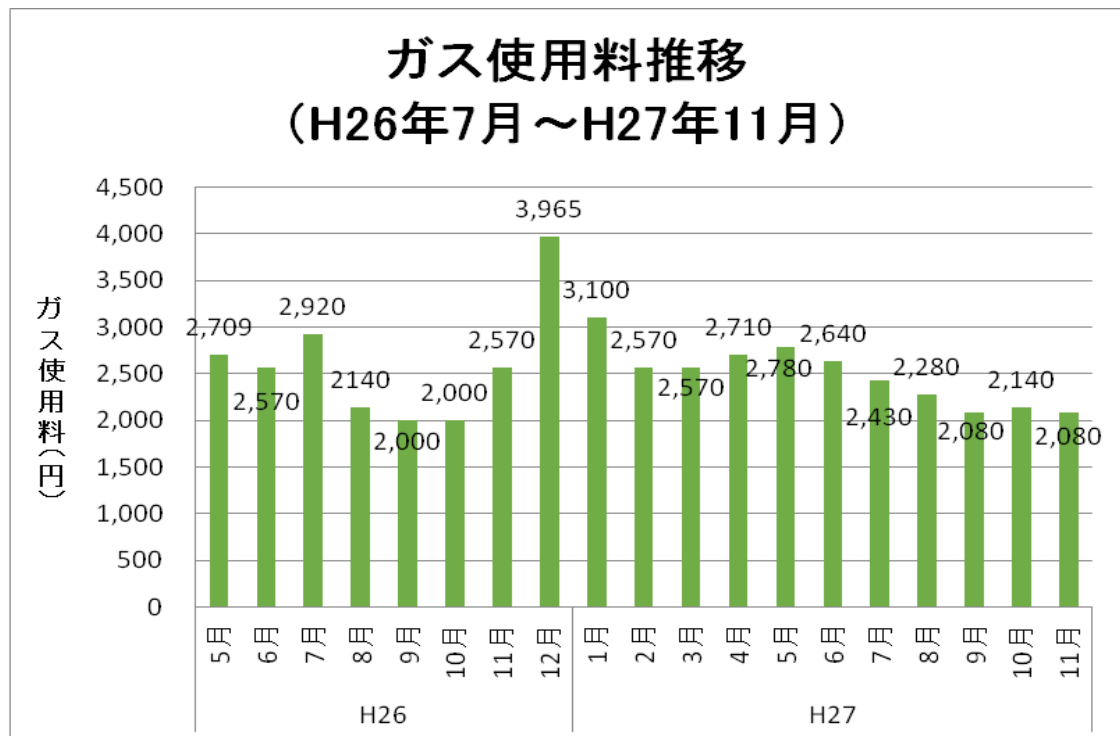
■ 電気使用量推移 (H26年1月～H27年10月)



■ 灯油使用料 (H26年1月～H27年5月)



■ LP ガス使用料推移 (H26年7月～H27年11月)



使用状況

1. 水道

会社移設当初の H26 年 2 月 26 日～4 月 24 日における水道使用量が非常に多く、翌年の同期間である H27 年 2 月 26 日～4 月 24 日の約 5.5 倍となっています。

そのほかには、H27 年 4 月～10 月の期間における使用量が H26 年度の同期間における使用量に比較して全体的に増加していることがうかがえます。

冬季の使用量が多くなる理由としては、LP ガスの使用量も増加していることから、お湯を沸かす機会が増加するためにこの両者が比例して増加していると考えられます。

2. 電気

H26 年の電気使用量に対して、H27 年の使用量が軒並み増加しています。

全体としては、2 月～5 月にかけての使用量が多く、冬～春にかけての使用量が多い。それに対して夏場の使用量が低くなっています。

夏場の使用量が冬からはるにかけてよりも低くなっている原因として、夏季冬季の日照時間の差が考えられます。

3. 灯油

冬季の暖房のみに利用のため 6 月～11 月は使用されていません。特に 1 月の使用が多くなっているといえます。

これは 12 月にかけて気温が下がり始め、1 月ごろから本格的に気温が低くなるためだと考えられます。

4. LP ガス

H27 年 12 月が最も使用量が多くなっているほか、5 月周辺における使用料の増加の傾向がうかがえます。

これからに向けて

移転後の経過年数が非常に少ないため、推移という点においては検討が難しくありましたが、現在電気などにおいて LED の利用の取組などを行っていることから、これからの取組を考えていくことが重要ではないかと考えます。そのため、後記の「7. 環境への取り組み提案」において記述している制度などを目標に、これからの活動の方向性や改善点を探して行ってほしいです。

4. 水性塗料と油性塗料の比較検討

それぞれの特徴・メリット・デメリット

	油性	水性
主成分	有機溶剤（シンナーなど）	水
内装への使用	できない	できる
保管	注意が必要	特に注意は必要ない
メリット	耐久性に優れている 雨水に強い ・塗料密着が良い	値段が安い 臭いが少ない
デメリット	値段が高い ・臭気が強い	耐摩耗性*が弱い 耐候性*が油性と比較すると落ちる ・気温が低いと施工不可

※耐摩耗性…摩耗とは、摩擦や研磨などの機械的作用によって、材料が表面から消耗していくことをさしているが、この摩耗を防止するめつきを耐摩耗性めつきと呼んでいる。耐摩耗性を向上させる方法には、表面硬度をあげる方法と摩擦係数を下げる方法がある。

※耐候性…プラスチックや塗料等の高分子材料が、屋外で使用された場合に、変形・変色・劣化などの変質を起こしにくい性質。



環境に良いのは水性であるが、外壁の塗装における課題が多い。

課題点

- ・表面が乾くのが遅く、鉄などに塗装した場合、夜露などで流れてしまうことがある
- ・水性で濃い色の塗装は、塗膜が完全にできるまでに時間がかかる（寒さの厳しい岩手では気温の低いときは施工できない）

サンリード東北株式会社
平成 27 年 12 月 14 日訪問参照

5. 環境への取り組み提案

川上塗装工業では、現在、特に環境に配慮した取り組みを行っていないということだったので、これから取り組んでいただきたいと思った「いわて地球環境にやさしい事業所」認定制度の取得を提案させていただきます。

私たちが紹介する「いわて地球環境にやさしい事業所」認定制度とは、岩手県が、平成16年度から地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っている事業所を認定する制度です。認定の評価は一つ星・二つ星・三つ星・四つ星があり、それぞれの基準を満たすことで認定されます。認定された事業所は県が広く県民に紹介します。

認定区分と基準

評価	基準
☆	<ol style="list-style-type: none">1. 二酸化炭素の排出の抑制（電力、重油、ガス、自動車等エネルギーの使用削減）に向けた具体的な計画・取り組みを行っていること。2. 従業員の通勤用マイカー利用による二酸化炭素の排出の抑制に向けた具体的な取り組み（ノーマイカーデーの実施、マイカー通勤自粛の啓発、エコドライブ徹底の啓発など）を行っていること。3. エコスタッフ（「地球温暖化一般」と具体的に二酸化炭素削減ができるように、省エネのポイント、環境マネジメントシステム、エスコ等設備改善の手法、通勤対策など「二酸化炭素削減の取組み」に関する話題を中心とした「エコスタッフ養成セミナー」を受講した者）又は、環境社会検定試験（eco検定）合格者であって1年以上事業所の環境活動に従事している者が常駐していること。
☆☆	上記一つ星（☆）に加えて、環境マネジメントシステムを保有していること。
☆☆☆	上記二つ星（☆☆）に加えて、ISO14001・IES（いわて環境マネジメントシステム）及びエコアクション21などの認証を取得していること。
☆☆☆☆	上記三つ星（☆☆☆）に加えて、二酸化炭素の排出の抑制（電力、重油、ガス、自動車燃料等エネルギーの使用削減）に向けた具体的な取組みの成果が認められること。

岩手県 HP (<http://www.pref.iwate.jp/kankyuu/seisaku/jigyosho/index.html>)

より引用（最終閲覧日平成28年2月4日）

前ページのような認定制度の基準を目標にすることによって、環境に配慮した取り組みを積極的に行う機会としていただきたいです。

6. 編集後記

今回、環境マネジメント実践演習を受講し、企業の方と環境報告書の作成に取り組むことは、大変貴重な経験になりました。初めは、塗装の工程や塗料についての知識がほとんどなく、どのような方向で環境報告書を作成していくか手探り状態でしたが、川上社長のご意向で、見る人の目に入ってくるような、面白くて堅苦しくない環境報告書を作成しようという方向で取り組みました。また、サンリード東北株式会社様にも訪問させていただき、さまざまな塗料の成分や種類、環境に配慮した塗料などについて学ばせていただきました。油性塗料と水性塗料を比較検討していく中で、バラの香りの付いた塗料や光触媒トップコートなど環境に配慮した性能のものがあり、環境配慮に向けての技術の開発が進んでいるのだと思いました。お忙しい中私たちの授業にご協力いただいた、川上塗装工業株式会社の皆さま、香月様をはじめとするサンリード東北株式会社の皆さま、暖かく出迎え、ご丁寧に対応していただきありがとうございました。（人文社会科学部環境科学課程 2年 及川歩乃佳）

今回、環境報告書を作成するにあたり、実際に企業の方と話す機会をいただき、とても貴重な経験となりました。塗装会社ということで、私自身ほとんど知識がない中での作成だったので大変な取り組みとなりました。環境に配慮した取り組みは様々知っていたものの、塗装会社への提案は企業の特徴などもあり、考えることが難しかったです。また、サンリード東北様を紹介していただき、訪問させていただきました。実際に企業様とお話しし、環境について一緒に考えることができたのは良い経験となりました。対応してくださった川上塗装工業の皆様をはじめ、サンリード東北様、時間が限られたなか対応してくださったこと、心より感謝いたします。ありがとうございました。

（人文社会科学部環境科学課程 2年 間澤樹菜）

学習として、CO₂ 排出量や環境評価といったものを扱ってはきましたが、実際に、企業に伺いその現状に沿って考えるとなった時、文面上の話とは異なる多くの事項が関連しているということを改めて実感する機会となりました。川上さんの社員の皆様の仕事に対する思いや、中小企業だからこそ可能なことがあるということにも気づくことができ多くを学ぶことができました。今回協力していただいた川上塗装工業様をはじめ、時間をとって塗料のことについて詳しく教えてくださったサンリード東北様には本当にお世話になりましたこと、厚く御礼申しあげます。

（人文社会科学部環境科学課程 2年 鵜浦文菜）